

## 計算関係書類に対する注記

### 1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に係る疑義は発生しておりません。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、償却原価法(定額法)を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

機械及び装置の減価償却は、定額法による。

#### (3) 賞与引当金

職員に対する賞与の支払いに備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	2,700,000,000	20,000,000	0	2,720,000,000
定期預金	25,298,250	0	20,000,000	5,298,250
小 計	2,725,298,250	20,000,000	20,000,000	2,725,298,250
特定資産				
機械準備資産	29,870,000	0	0	29,870,000
機械及び装置	16,041,669	0	5,500,000	10,541,669
小 計	45,911,669	0	5,500,000	40,411,669
合 計	2,771,209,919	20,000,000	25,500,000	2,765,709,919

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	2,720,000,000	(2,716,832,000)	(3,168,000)	(0)
定期預金	5,298,250	(1,400,000)	(3,898,250)	(0)
小 計	2,725,298,250	(2,718,232,000)	(7,066,250)	0
特定資産				
機械準備資産	29,870,000	(0)	(29,870,000)	(0)
機械及び装置	10,541,669	(3,218,366)	(7,323,303)	(0)
小 計	40,411,669	(3,218,366)	(37,193,303)	0
合 計	2,765,709,919	(2,721,450,366)	(44,259,553)	0

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
地方債等 15件	2,720,000,000	2,486,325,300	-233,674,700

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
次世代林業基盤づくり事業	愛知県	5,718,366		2,500,000	3,218,366	指定正味財産

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業の用に供する振替額 : 基本財産受取利息	11,787,000
減価償却費計上による振替額 : 愛知県補助金振替額	2,500,000
合 計	14,287,000

8. その他

(1) 金融商品に対する取組方針

当基金は、公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。なお、株式取引及びデリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びリスク

金融商品の内容は債権であり、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用管理に基づく取引

金融商品の取引は、当基金の基本財産の運用管理に関する規程に基づき行う。

② 市場リスクの管理

債券については、市場価格の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産については、計算関係書類の注記に記載のとおりである。